

中央本部は、日本郵便に対して「手当措置」を強く要求！

コロナ禍において懸命に事業・業務を支えている現場に「暑さ対策関連経費」を措置
日本郵便 総額約20億円を社員数比率で配算。

今年は新型コロナウイルス感染症をはじめ大規模自然災害も発生しているなか、とりわけ緊急事態宣言が発せられて以降も感染リスクと向き合いながらユニバーサルサービスの維持はもちろんのこと、政府調達マスクの全戸配布、特別定額給付金関連郵便の配達および緊急小口貸付の受付等、業務の負担が高まる中で、出勤抑制等が不可能であった職場も多く、JP労組はその労苦に報いるよう継続して手当の支給を求めてきました。

会社は、そうした環境下で懸命に業務に従事する全社員への労に報いることへの感謝と社員が安心して働ける環境整備の観点から、特に猛暑の本格化を迎えるにあたり暑さ対策に係る経費を追加するとしました。

今後、組合員(社員)が受け取っても不要となることがないように、全社員にいきわたる最も効果的な経費の使用方法等について提言するなど、各職場の交渉窓口を通じて対応をしていきます。

※ 詳しくは、中央総合情報共通第3号(2020.8.7)、JP労組新聞第289号(2020.8.17)を参照願います。

2021春闘方針(案)策定に向けた検討開始！

21春闘交渉は、①グループ各社の経営状況と極めて厳しい今後の経営見通し、②コロナ禍の影響等、一時金4.3月をなんとか維持できた20春闘より、さらに厳しい攻防になると想定されます。

特に、家計に与える影響が非常に大きい一時金は、月給制・時給制については支給係数が労働協約で定められていますが、正社員の一時金は毎年の労使交渉で定めることとなっているため、年間一時金水準の確保に向けて、どのような対応が求められるのか、さらには20春闘交渉経緯等を踏まえ、働き方と処遇のあり方やあるべき労働力配置等、本質的な同一労働同一賃金の実現に向けた対応をどのように進めていくのか等、客観的合理性の確保や納得性の醸成に向けた、丁寧な組織内議論を皆さんと積み重ねていく必要があります。

中央本部方針(案)

まずは、労働協約で**決めていない(つまり、約束されていない)年間一時金(4.3月)**を堅持しつつ、以下の中長期的課題に挑戦していく。

- ①本質的な同一労働同一賃金の実現に向けた議論の促進
～働き方と処遇のあり方等における客観的合理性の追求～
- ②月給制・時給制で働く仲間の賃金のあり方検討
- ③あるべき労働力政策の確立に向けて



【横浜貯金支部 職場集会の様子】

山梨連協 ユースネットワーク・女性フォーラム 第5回定期総会を開催！

JP労組山梨連協ユースネットワーク・女性フォーラムは、8月10日山梨県甲州市内において第5回定期総会を開催しました。

昨年度の活動報告を行ない、2020年度の活動方針について全体で確認をしました。



【飯野さんへ花束贈呈】



【定期総会の様子】

連協女性フォーラム結成当初から役員を務めていただいた、飯野さんが今総会で退任されました。本当に長い間、連協女性フォーラムの運営と発展にご尽力いただき、ありがとうございました。

新たに山梨南部支部の川口さんが副議長に加わり、今年度は新体制で活動していきます。

JP労組南関東「IT広報セミナー」を開催！

広報活動とは、「知らせる活動」と「言わせる活動」

8月7日横浜市内において、「IT広報セミナー」を開催しました。講師に、公益財団法人富士社会教育センターより志垣トレーナーを招き、広報活動の重要性等について講演がありました。

また、伝え方・伝わり方の基本について、「広報担当者（作成者）目線で作成してしまうと、一方的になってしまい、組合員や本当に見てほしい人に情報が伝わらないことから、どのように伝えるか、伝わっているかを考えながら広報誌を作ることが重要」「広報活動は、知らせる活動と言わせる活動、組合員にいかに意見を挙げてもらうか、そういった視点の広報誌作りを意識しましょう」と、参加者は実際にPCを使って広報誌を作成しながら、アドバイスを受けました。



【セミナーの様子】



【広報誌作りの様子】



★★★★ JP労組加入の際は、総合共済に同時加入を！★★★★

One for all, All for one **総合共済** は助け合いの原点。【掛金月額750円】で、前10種類の共済金のお支払いを準備！

マイカー共済のお見積り依頼受付中！詳しくは支部役員またはJP共済生協南関東地方部まで♪

JP共済生協南関東地方部 (tel045-222-6381 fax045-222-6382)